

第13回鳥取県労働・福祉事業四団体合同研修会を開催



2025年10月18日(土)ハワイアロハホールにおいて、「第13回 鳥取県労働・福祉事業四団体合同研修会」を開催しました。

今回のテーマは～人生100年時代に備えた保障と資産形成のお話～とし、株式会社F Pユニオンlaboの吉上美枝子さんを講師にお招きしました。

ライフプランにおけるイベント(結婚・教育・住宅・老後)にかかるお金の負担をイメージし、どのようにして資産形成するのかを学習しました。その中ではろうきん、こくみん共済coopの商品を上手に利用し、資産形成する具体的な事例を紹介いただきました。



第62回労働者スポーツ祭典県大会を開催

2025年10月11日(土)、10月19日(日)、11月8日(土)に第62回県大会を開催しました。各競技会場で熱戦が繰り広げられました。ご参加いただいた選手の皆さんの健闘に敬意を表します。また、競技の進行に協力いただきました役員、審判員のみなさま、労福協中部支部のみなさま、早朝からの準備と競技の運営ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

※大会結果は、ホームページをご覧ください。

目次

東部支部「第21回労福協まつり」の開催	P2
西部労福協第10期理念歴史リーダー養成講座	P2
中部支部「第18回労福協まつり」の開催	P3
高等教育費負担軽減セミナーのお知らせ	P3
福祉強化キャンペーンの取り組み	
ろうきん・こくみん共済 coop	P4
鳥取県生協・鳥取医療生協	P5
福祉事業団体通常総会・総代会開催①	P6
福祉事業団体通常総会・総代会開催②	P7
鳥取県最低賃金	P7
第72回鳥取県勤労者美術展	P8

労福協東部支部 「第21回労福協まつり」開催

8月24日(日) 労福協東部支部「第21回労福協まつり」を開催しました。今回も昨年に引き続き「鮎のつかみ取り」と「ビンゴゲーム大会」を行い、会場となった鳥取市河原町河川敷（あゆ祭り会場）には、昨年を上回る約600人の親子が来場してくださいました。

受付では、先着500人に「白バラコーヒー」または「白バラフルーツ」とビンゴカードを配布し、初めに、下田支部長から「夏休み最後の思い出として、魚をいっぱい捕って楽しんでください」とあいさつしました。その後、小学生未満のお子さんから「鮎のつかみ取り」を行い、続いて、小学生が行いました。子供たちは元気に池の中を走り回り、鮎を追いかけて捕まえては歓声を上げていました。

続いて、親子でビンゴゲーム大会を行い、番号を読み上げるたびに歓声や怒声が起こり、最後の商品が無くなるまで大盛り上がりとなりました。

今回の「労福協まつり」は、昨年の反省を生かしつつ運営をしましたが、新たな課題や問題点がみられ、みなさまには大変ご迷惑をおかけしたと思っています。また今回の反省点を改善かしながら、来年以降も継続して行きたいと思っています。



西部労福協「第10期労働者福祉運動の理念・歴史・リーダー養成講座」に参加して

開催日 2025年8月8日(金) 8月9日(土) **研修会場** 岡山県「ピュアリティまきび」

参加者 36人(鳥取県より3人参加：梶川(連合鳥取)、田中(中国労金)、重村専務理事)

養成講座に参加して改めて労金の成り立ち、存在意義について理解することができました。また、2日目のグループ討議では組合員の方と意見交流をし貴重な意見を聞くことができ、良い機会となりました。近年では労働環境が改善されたりと、若者にとって既に働きやすい恵まれた環境が出来ていることなど、様々な要因が考えられることが分かりました。その中で若年層の組合参加を高めるためにどうすればよいかといった自分にはない観点からの意見を聞くことができて良かったです。また普段、組合員の方が疑問に思っていることなど知ることができ、労金職員として勉強となる良い機会となりました。(参加者報告)



労福協中部支部

「第18回労福協まつり」開催

2025年8月3日(日)に、倉吉市関金町の関金運動公園屋根付き広場にて、地域の交流と親睦を深めることを目的に、今年も「第18回労福協まつり」を開催しました。「マスつかみ」と「お楽しみ抽選会」に親子連れを含め約550人のご参加をいただきました。

主催者あいさつ、来賓あいさつに続き、今年も待望の「マスつかみ」がスタートしました。



今年は天候の影響で川の水量

が非常に少なく、例年設けている小学生以下向けの池には水を貯めることができませんでした。そのため、すべての参加者が川での実施となりましたが、子どもたちは元気いっぱい挑戦し、笑顔と歓声があふれる楽しい時間となりました。

その後は、大人にも開放され、会場の熱気はさらにヒートアップ!大人たちも童心に返って真剣にマスを追いかけて、子どもたちに負けじと奮闘。世代を超えて楽しめるひとときとなりました。

お楽しみ抽選会では、今年も産別から豪華賞品をご提供いただき、朝倉支部長がくじを引いて当選者を発表。番号が呼ばれるたびに歓声が上がりました。

さらに今年も、大山乳業労組さんのご協力により、来場者全員にジュースの配布とアイスクリームの販売を実施し、みなさんに喜んでいただきました。

ご参加いただいた皆さんにとって、今年も素敵な夏の思い出となったのではないのでしょうか。来年も、より楽しいイベントを目指して継続開催していきたいと思いますので、引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。



家族の「困った」を、社会が「支える」へ

高等教育費負担軽減webセミナー

高等教育費の家庭負担は限界に近づいている状況です。このセミナーは「家族の困ったを、社会が支えるへ」をテーマに、高等教育費を「個人の責任」でなく「社会全体で支える」という意識改革を目指します。



どなたでも
参加可能
です!

回数・時間

全6回

2025年10月 » 2026年3月 | 平日19時-19時40分(予定) |

内容

イントロダクション(5分)/講演(35分)

開催方式

オンライン開催(Zoomのウェビナー)
全て見逃し配信しますので途中からの受講も大歓迎

受講料

無料



今、私ができること。
今、お父さんができること。

高等教育費の
負担軽減を

check!



お申し込みはコチラから



講座の詳細、参加申し込み、お問い合わせ
についてはWEBサイトをご確認ください。

主催 すべての人が学べる社会へ 高等教育費負担軽減プロジェクト



中国ろうきん

組合員のみなさんの「夢」の実現にむかって ～ 金融の相談はお任せください ～

中国ろうきんは、『「とことん」お役立ち宣言!!～あなたの想いを未来へ～』をスローガンのもと、対面による「人」と「人」の繋がりを通して「心」と「心」の結びつきを大切に会員、間接構成員の皆さまとそのご家族の期待に応えるためより質の高い「お役立ち」を実践しています。その中でも特に生活応援運動の一環として、将来に向けた資産形成や多重債務・高金利貸付の借換えにより可処分所得の向上など一番身近で、一番頼れる金融機関であることを胸に労福協、こくみん共済CooP、推進機構と連携し働く人の夢と共感を創造する運動を展開していきます。



「家計の見直し運動」

お金のことなら、まず労金に!! ご相談をおまちしています。

こくみん共済 coop

こくみん共済 coop は事業と社会課題の解決を通じて、 理念の実現をめざします。

こくみん共済 coop の理念 みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり

- ・ 共済・サービスの提供にとどまらず、社会課題の解決にむけて取り組みます。
- ・ 社会課題の解決の取り組みで得た経験やネットワークを事業に活かします。

① 共済を通じた安心の提供

共済は「たすけあいのしくみ」です。共済を通じて、もしもの際の経済的な備えの提供と、「もしも」を防ぎ、「もしも」から速やかに生活を再建するためのサービスの提供により、組合員の暮らしをトータルに支えます。

② 環境保全の取り組み

豊かな自然環境を守り、次世代に引き継ぐため、事業と環境保全活動に取り組みます。

③ 子どもの健全育成の取り組み

未来を担う子どもたちの健やかな成長を支えるため、交通事故から守る取り組み(7才の交通安全プロジェクト)、豊かな心と身体を育む取り組み(子どもの成長応援プロジェクト)を行います。

④ 防災・減災の取り組み

自然災害から組織や地域社会を守る等、防災・減災の普及とネットワークづくりを進めます。

⑤ 共創による社会づくり

協力団体や共創パートナー団体(※)等の共創活動により事業と運動の発展に取り組みます。

※労働金庫、生協、協同組合組織、自動車分解整備事業者、NPO団体、その他理念・志を共有できる団体組織等

⑥ 魅力ある組織づくり

役職員一人一人が、持てる力を発揮し活躍できるよう、人財の育成や女性のさらなる活躍、自律した働き方の実践に取り組み、魅力ある組織づくりを進めていきます。

で、 を地域に広げよう !!

2025
全国福祉強化
キャンペーン

鳥取県生協



パートナーシップで目標を達成しよう!

鳥取県生協のSDGsアジェンダ

鳥取県生協は、1950年の創立以来、「思いやりでつなぐ人間らしい豊かなくらしの創造」の理念のもと、さまざまな取り組みを進めてきました。2023年に「鳥取県生協のSDGsアジェンダ」を策定し、“みんなが幸せにくらせる社会を目指して”をスローガンに掲げました。アジェンダでは、「福祉」「エシカル」「環境」「平和」の4つの行動方針を定め、SDGsの目標達成に向けた取り組みを強化しています。

福祉のSDGs

誰もが安心して利用しやすい事業やサービスを創るための取り組み、組合員一人一人の多様性を尊重し支え合える組合員活動、職員が元気に個性を認め合いながら活躍できる職場の取り組みを通じて、よりよいくらしを共に創造し、みんなが幸せにくらせる社会を目指します。

エシカルのSDGs

エシカル消費の推進、生産者・産地メーカー、組合員・職員の想いの交流、安心安全な商品づくりと、食のつくり手への感謝と元気な体づくりを育むための食育活動を通して、持続可能な生産と消費のための「つくる責任つかう責任」を考えた行動と、商品とくらしのあり方を見直していきます。

鳥取県生協のSDGsアジェンダ



環境のSDGs

再生可能エネルギーの開発・導入、事業活動から排出される温室効果ガスの削減、食品ロス、使い捨てプラスチックの削減、回収リサイクル運動の促進や環境保全活動を通じて、豊かな地球環境を未来のこどもたちへつなげていくため、自然と共生した脱炭素と循環型の社会を目指します。

平和のSDGs

生活困窮者や子ども食堂への支援、自然災害などによる被災地の復興支援や、災害に備えた防災・減災の学習、核兵器廃絶、被爆・戦争体験継承の取り組み等を通じて、世界から飢餓や貧困をなくし、戦争や核兵器のない世界平和の実現を目指します。

2025年は「国際協同組合年」です。持続可能な社会づくりに貢献する活動を推進するとともに、協同組合の価値や重要性を広く伝え、その活動をさらに促進する特別な一年です。

鳥取医療生協

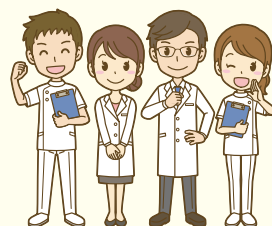
鳥取医療生協とは

医療生協は、「健康で長生きしたい」「いざというとき安心してかかれる病院、診療所がほしい」という地域住民の願いを実現するためにつくられ、組合員と職員が力を合わせて、健康づくり、まちづくり、医療制度の充実などに取り組んでいる協同組合です。鳥取医療生活協同組合は、1951年に「勤労者とその家族の健康を守りたい」との思いから、鳥取勤労者医療生活協同組合として創立されました。

鳥取医療生協の組合員活動は、「人と人との協力の力で、健康で平和なまち、いのち輝くまち、鳥取をつくります」の理念のもと、年間を通して健康づくりや保健予防活動、ボランティア活動、社保・平和活動等に取り組んでいます。

高齢化がすすむ鳥取において、高齢者救急、複合疾患への対応、リハビリ医療、在宅復帰への支援、介護事業との円滑な連携は地域に求められる重要な機能です。医療生協の事業を最大限活かしつつ、地域の様々な事業所と連携し、地域で支えていく機能を強化します。

あたらしいつながりづくりに挑戦し、安心して暮らせる地域づくりに貢献するため、「フレイル予防班会」、「脳いきいき班会」、「つながりサポーター養成班会」、「すこしお班会」など、健康づくりを軸にした医療生協らしい楽しく豊かな活動をすすめています。つながりサポーター養成講座やたまり場づくりにより、医療生協の仕組みを活かした協同を広げます。





中国労働金庫第22回通常総会開催される

～2025年度事業計画などを承認～

特別報告『2030年システム更改に係る課題と当金庫の対応について』

中国労働金庫の第22回通常総会が、6月25日(水)13時より広島市リーガロイヤルホテルにおいて、臨時代議員ほか169会員(委員会員 2,099会員、合計2,268会員)が出席される中で開催されました。



第8期中期経営計画の初年度である2024年度は、「『とことん』お役立ち宣言!!」をスローガンにスタートしました。日銀による政策金利引き上げが実施され、「金利のある世界」に移行し、資金力や経営効率を競う体力勝負に環境に置かれています。そんな中で業容拡大ブロックの導入をはじめとする店舗政策を展開等より質の高い「お役立ち」の実践に加え持続可能なビジネスモデルを支える組織体系の構築をあげ、2025年度の事業計画などが提案され、全議案が満場一致で採択されました。また、特別報告として2030年度には業態統一の基幹システム更改が予定されており、システム増加に耐えうる利益水準を確保する必要があることの報告がありました。また、任期満了に伴う役員改が行われ、鳥取県からは田中穂副理事長(電力総連)、田中智史理事(電機連合)が就任されています。

選出された主な役員

理事長	中山 悦己	新任
副理事長	田中 穂	再任
専務理事	瀬光 秀昭	新任
常務理事	板崎 幸夫	再任
常務理事	三宅 康友	新任
常勤理事	仲田 敏幸	再任 (北部エリア営業本部長)
常勤理事	森 信之	新任 (東部エリア営業本部長)
常勤理事	善積 昭之	再任 (中部エリア営業本部長)
常勤理事	網戸 茂	再任 (西部エリア営業本部長)



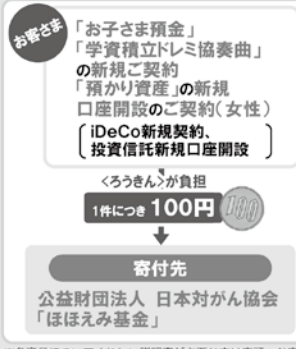
〈ろうきん〉を通じた社会貢献活動〈ろうきん〉の利用が誰かの笑顔につながる

〈ろうきん〉をご利用
いただくことで
社会に貢献できるしくみ

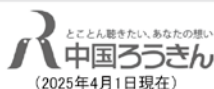
〈ろうきん〉の対象商品をご利用または指定のセミナーを
開催いただくことで、「仲間の希望」につながります。

〈ろうきん〉商品のご利用・ご契約実績、セミナー開催実績に応じて、〈ろうきん〉が
「いのちの電話」、「ほほえみ基金」、「社会貢献団体」へ寄付をいたします。お客さまのご負担はございません。

取扱期間/
2025年
4月1日(火)～
2026年
3月31日(火)



※各商品についてくわしい説明書が必要な方は店舗へお申し出ください。



くわしいお問合せ・
ご相談は

中国労働金庫

フィッシング詐欺などの
金融犯罪にご注意ください!

くわしくは〈ろうきん〉ホームページでご確認ください →



鳥取県共済生活協同組合「第73回通常総代会」 こくみん共済 coop 鳥取推進本部「第8回組合員代表者会議」

2025年7月29日（火）、こくみん共済 coop 鳥取推進本部会館5階大会議室において、総代総数110名中105名（本人出席59名、書面議決出席46名）の出席により、通常総代会および組合員代表者会議を開催いたしました。

はじめに、松崎本部長からの挨拶を行い、来賓を代表して連合鳥取、鳥取県労福協からご挨拶をいただきました。

2024年度活動報告、決算・監査報告、2025年度活動方針等の提案を行い、満場一致で承認されました。

2025年度は、「こくみん共済 coop 中期経営政策2022-25～変革と創造」の最終年度として、「お役立ち」「共創」により協力団体・組合員との関係強化をはかり、めざす姿への変革にむけて、「新しいたすけあい」の創造・実践をさらにすすめていきます。



<2025年度推進活動計画の基調>

①CX向上の取り組み<CX-Challenge>の実践

組合員のお役立ち情報としての共済金支払い状況を広く組合員に発信し、「共済金請求漏れ防止」をすすめます。

②可処分所得向上のための保障設計運動の展開

取り巻く社会情勢を踏まえ、組合員の生活を守るための可処分所得の向上につながる「保障点検」や、人生100年時代に備えた「資産形成」に関わる推進をすすめます。

③公式アプリ・マイページの活用によるデジタル技術の活用強化

セット共済WEBシステムの稼働によるWEB募集による加入促進と、マイページから契約更新・保全・共済金請求手続きの利便性向上にむけて取り組みます。

④効果的な推進を目指したデータ活用の強化

システムから抽出された「共済金請求」「退職予定者」等のデータを活用した提案活動の強化と、既加入データを活用してのターゲットを絞り込んだ推進を展開します。

⑤ニーズに合わせた貯蓄性商品の推進

組合員のニーズに合った資産形成をすすめるため、保障と貯蓄の二面性がある満期金・積立型の共済商品（終身・年金等）について、組合員と家族を含めて広く推進をすすめます。

鳥 取 県 最 低 賃 金

時間額：1,030円 発効日：令和7年10月4日

詳しくは、鳥取労働基準部賃金室（電話 0857-29-1705）又は
最寄りの労働基準監督署へお尋ねください。

勤労者美術展

鳥取県
第72回

2026
1/18日 - 25日

午前9時～午後5時 ※19日(月)は休館日
※最終日は午後3時まで

入場無料

同時開催中/
わたしの熱中作品展

来場者
人気投票実施

会期中、来場者による
人気投票を行います。
投票期間：2026.1/18～1/24正午

会場／とりぎん文化会館
イベントホール(展示室)
鳥取市尚徳町101-5

- 駐車場のご案内(無料)
自家用車 316台
- 徒歩
* JR鳥取駅から若桜街道を県庁方向へ
徒歩約20分
- バス
* 路線バス
鳥取バスターミナル(JR鳥取駅横)から
乗車約5分「県庁日赤前」下車すぐ
- * 100円循環バス「くる梨」
赤・青・緑コースいずれも
「とりぎん文化会館」下車すぐ

(一財)鳥取県労働者福祉協議会

鳥取市天神町30番地5 電話:0857(27)4188
E-mail:tottori@roufuku.jp http://tottori.roufuku.net/



写真／洋画／日本画／書道

発行責任者 山口一樹 編集責任者 重村和光 編集委員 常松美紀・森本公司・福政尚美・谷口美紀
発行日 二〇二五年十一月 発行 鳥取市天神町三〇番地五 (一財)鳥取県労働者福祉協議会 第328号 TEL(〇八五七)二七一四一八八